

Pioneer

取扱説明書

11.6V型ワイドXGAフリップダウンモニター

TVM-FW1100-B/-S

HDMITM
HIGH DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

車への取付・配線、取付場所の変更は、安全のため必ず販売店に依頼してください。

車への取付・配線、取付場所の変更は、安全のため必ず販売店に依頼してください。
取付・配線や取り外しには、専門技術と経験が必要です。誤った取付・配線や取り外しを行ったり、指定以外の部品を使用すると、事故やケガ・故障の原因となる場合があります。この場合、弊社では一切の責任を負いかねます。

※ 別売部品の接続および取り付けについては、別売部品に付属の説明書も併せてご覧ください。

本書に記載されている内容は、予告なく変更されることがあります。あらかじめ、ご了承ください。
本書の内容を無断で転載することは禁止されています。

- 製品をご使用になる際は必ず「安全上のご注意」をお読みください。安全のための注意事項をお守りいただけない場合は、お使いになるかたや他の人への危害や物的損害の原因となることがあります。
- 本書では、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。よくお読みの上、安全にお使いください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店」などの記入を確かめ、大切に保管してください。

carrozeria

もくじ

はじめに

安全上のご注意.....	3
使用上のお願い.....	7
守っていただきたいこと.....	7
液晶画面について.....	7

準備する

付属品.....	8
各部のなまえ.....	9
各部のなまえ（リモコン）.....	10
リモコンを準備する.....	11
使いかた.....	11
電池の交換のしかた.....	11

操作する

電源オン・オフのしかた.....	12
入力を切り換える.....	13
ワイドモードを切り換える.....	14
モニター画面の明るさを切り換える.....	15
映像に適した画質に切り換える.....	16
ルームランプを操作する.....	17
ルームランプを点灯・消灯する.....	17
ルームランプの明るさを調節する.....	17
本体のルームランプスイッチについて.....	17

各種設定のしかた

メニューについて.....	18
メニュー操作・設定のしかた.....	18
メニュー項目一覧.....	19
画質設定.....	20
明るさ設定.....	21
画面設定.....	21
ルームランプ設定.....	23
その他の設定.....	24
HDMI リンク.....	25
すべての設定を初期化する（リセット）.....	27

接続のしかた

接続の前に	
～知っておいていただきたいこと～.....	28
カバーの取り付け・取り外し.....	29
ケーブル類の取り回し.....	29
ルームランプの極性スイッチについて.....	30
電源・AV インターフェースケーブルを	
つなぐ.....	31
HDMI 接続機器をつなぐ.....	32

ご参考




おもな仕様.....	33
故障かな？と思ったら.....	34
フリーソフトウェアに関する	
重要なお知らせ.....	36

はじめに




安全上のご注意

あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを説明しています。

■表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

 危険	「人が死亡または重傷を負う可能性が差し迫って生じることが想定される内容」です。
 警告	「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」です。
 注意	「人が軽傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」です。

■お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

 注意（警告を含む）しなければならない内容です。	 禁止（やってはいけないこと）の内容です。
 必ず行っていただく強制の内容です。	

接続・取り付け

警告



禁止

本機は、DC12V ⊖ アース車専用です

- ・ 24V 車で使用しないでください。火災や故障の原因となります。

エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に取り付けと配線をしない

- ・ エアバッグ装着車に取り付ける場合は、車両メーカーに作業上の注意事項を確認してください。エアバッグが誤動作し、死亡事故の原因となります。

警告



禁止

前方視界や運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には絶対に取り付けない

- ・ 交通事故やケガの原因となります。

電源コードの被覆を切って、ほかの機器の電源を取らない

- ・ 電源コードの電流容量がオーバーすると、火災や感電、故障の原因となります。

取り付けには保安部品（ステアリング、ブレーキ、タンクなど）のボルトやナットは絶対に使用しない

- ・ これらを使用すると、制動不能や発火、交通事故の原因となります。

安全上のご注意 (つづき)

警告



強制

取付・配線、取付場所の変更は、安全のため必ず販売店に依頼する

- 取付・配線や取り外しには、専門技術と経験が必要です。誤った取り付けや配線、取り外しをした場合、車に重大な支障をきたす場合があります。

作業前はバッテリーの⊖端子を外す

- ⊕、⊖経路のショートにより、感電やケガの原因となります。

作業前に、パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認する

- 車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類・タンク・電気配線などに干渉・接触しないように注意してください。また、加工部のサビ止めや浸水防止の処置を行ってください。

必ず付属の部品を使用し、確実に固定する

- 付属の部品以外を使用すると、機器内部の部品を損傷したり、しっかりと固定できずに外れて運転の妨げとなり、事故やケガの原因となります。

説明書に従って接続・取り付けする

- 説明書に従わずに接続・取り付けを行うと、火災や故障の原因となります。

コードの被覆がない部分はテープなどで絶縁する

- ショートにより、火災や感電、故障の原因となります。

車体やネジ部分、シートレールなどの可動部にコードを挟み込まないよう配線する

- 断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となります。

警告



強制

コード類は運転操作の妨げとならないように固定する

- ステアリングやセレクトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと、事故の原因となります。

取り付けと配線が終わったら、電装品が元通り正常に動作するか確認する

- 正常に動作しない状態で使用すると、火災や感電、交通事故の原因となります。

ねじなどの小物部品は、乳幼児の手の届かないところに保管する

- 誤って飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。

注意



禁止

直射日光やヒーターの熱風が直接当たる場所に取り付けない

- 内部温度が上昇し、火災や故障の原因となることがあります。

本機を不安定なところに取り付けない

- 落下などの原因となることがあります。

通風口や放熱板をふさがない

- 内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。

コード類は絶対に途中で切断しない

- コード類にはヒューズがついている場合があるため、保護回路が働かなくなり、火災の原因となることがあります。

安全上のご注意 (つづき)

⚠ 注意



禁止

コード類の配線は、車体の高温部に接触させない

- ・ 火災や感電の原因となることがあります。

製品同梱の電源リード線は、バッテリーに直接接続しない

- ・ 火災や感電の原因となることがあります。

分岐配線をしない

- ・ ケーブルが加熱して、火災・感電の原因となることがあります。

雨が吹き込む所や水や結露、ほこり、油煙などが混入するところには取り付けない

- ・ 発煙や発火、故障の原因となることがあります。



強制

コードが金属部に触れないように配線する

- ・ 金属部に接触するとコードが破損して、火災や感電、故障の原因となることがあります。

使用方法

⚠ 警告



禁止

運転者は走行中に操作をしない

- ・ 前方不注意となり交通事故の原因となります。必ず安全な場所に停車してから操作してください。

運転者は運転中に映像を見ない

- ・ 前方不注意となり交通事故の原因となります。

製品にぶら下がったり、無理な力を加えない

- ・ 本機にぶら下がったり、物を引っ掛けたり吊るしたりしないでください。ケガや故障・破損の原因となります。

ディスプレイの可動部の隙間には指や異物を入れない

- ・ ケガ・故障の原因になります。

液体で濡らさない

- ・ 発煙・発火・感電の原因となります。特にお客様のいるご家庭ではご注意ください。

リモコンなどを放置しない

- ・ 停車した時やカーブを曲がるときに、リモコンなどが足もとに転がり、ブレーキペダルなどの下に入り込むと運転の妨げになり、交通事故の原因となります。

画面が映らない、音が出ない、音声が割れる、歪むなどの異常・故障状態で使用しない

- ・ 思わぬ事故や火災、感電の原因となります。

安全上のご注意 (つづき)

警告



接触禁止

雷が鳴り出したら、コードや本機に触れない

- ・ 落雷による感電の危険性があります。



分解禁止

分解や改造をしない

- ・ 交通事故や火災、感電の原因となります。



強制

ヒューズを交換するときは、必ず規定容量（アンペア）のヒューズを使用する

- ・ 規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。

注意



禁止

本機は車載用以外で使用しない

- ・ 発煙や発火、感電やケガの原因となることがあります。



強制

音量は、車外の音が聞こえる程度で使用する

- ・ 車外の音が聞こえない状態で運転すると、交通事故の原因となることがあります。

電池は正しく使う

危険



誤飲注意

コイン型リチウム電池を飲み込まないよう注意する

- ・ コイン型リチウム電池を飲み込むと、2時間足らずで重大な体内損傷を引き起こし、死に至ることがあります。
電池を飲み込んでしまった、又は電池を飲み込んだ疑いがある場合、直ちに医師の診断を受けてください。特にお子様がいるご家庭ではご注意ください。

異常時の問い合わせ

警告



強制

万一異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ず販売店がサービス相談窓口にご相談する

- ・ そのまま使用すると、思わぬ事故や火災、感電の原因となります。

■ 使用上のお願い

守っていただきたいこと

エンジンを切った状態で長時間使用しないでください

- ・ エンジンを切った状態で長時間使用すると、バッテリーが消耗し、思わぬトラブルの原因となることがあります。

電磁波妨害に注意してください

- ・ 本機の近くで携帯電話などの電子機器を使うと、電磁波妨害などにより映像が乱れたり雑音が発生したりすることがあります。

お手入れのしかた

- ・ 汚れは柔らかい布で軽く拭き取ってください。

- ・ 汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤にひたした布をよく絞って拭き取り、そのあと乾いた布で拭いてください。
- ・ 殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。跡がついたり、変色などの原因になります。

使用上のご注意

- ・ DC12V 車両以外（船舶等への搭載など）で使用されずと故障の原因となることがあります。
- ・ 説明書に記載されている注意事項を守らないことによって生じる不具合に対しては、責任を負いかねますのでご注意ください。

液晶画面について

取り扱い上のご注意

- ・ 直射日光が当たる状態で長時間使用すると、高温により液晶画面が故障するおそれがあります。できる限り直射日光が当たらないようにしてください。
- ・ 本製品は指定された温度範囲内でお使いください。
- ・ 液晶画面を強く押さないでください。故障や破損のおそれがあります。
- ・ 液晶画面にみだりに触らないでください。キズや汚れの原因になります。
- ・ 液晶画面の中に小さな黒い点や明るく光る点（輝点）が出るがありますが、液晶画面特有の現象で故障ではありません。

LED バックライトについて

- ・ 周辺温度が低い状況でお使いの場合、液晶の特性上、残像が目立ちやすくなり画質が劣化することがあります。この場合、周辺温度が高まれば通常の画質に戻ります。
- ・ 真夏の炎天下やエアコンの温風が直接モニター部に当たってモニター部が高温になると、LED 保護のため自動的にバックライトの明るさを抑える場合があります。
- ・ LED バックライトの寿命は1万時間以上を想定しておりますが、高温下でお使いになると寿命が短くなる場合があります。
- ・ LED バックライトが寿命になると、画面が暗くなったり、映像が映らなくなったりします。このときはお買い上げの販売店または修理受付センターにご連絡ください。

準備する

警告

取り付けや配線は専門業者にご依頼ください



- ・取り付けや配線は、専門技術と経験が必要です。お買い上げの販売店にご相談ください。

取付作業の際は、ショート事故防止のために車の電源を OFF にした状態で、バッテリーのマイナス端子を外してください。

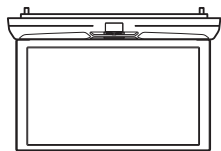
取り付け、配線作業がすべて終わったあと、取り外した車両の部品を元通りに取り付け、最後にバッテリーのマイナス端子を元通りにつないでください。

準備する

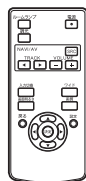
付属品

下記の付属品がすべて揃っているかご確認ください。

モニター本体 (1台)



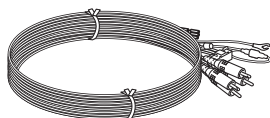
リモコン (1個)



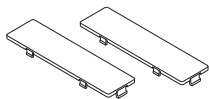
ボタン電池 (1個)

※ あらかじめリモコンにセットされています。

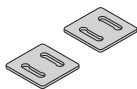
電源・AV インターフェースケーブル (1本)



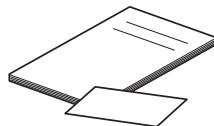
カバー (2個)



コードクランプ (2個)



取扱説明書・保証書 (各1部)

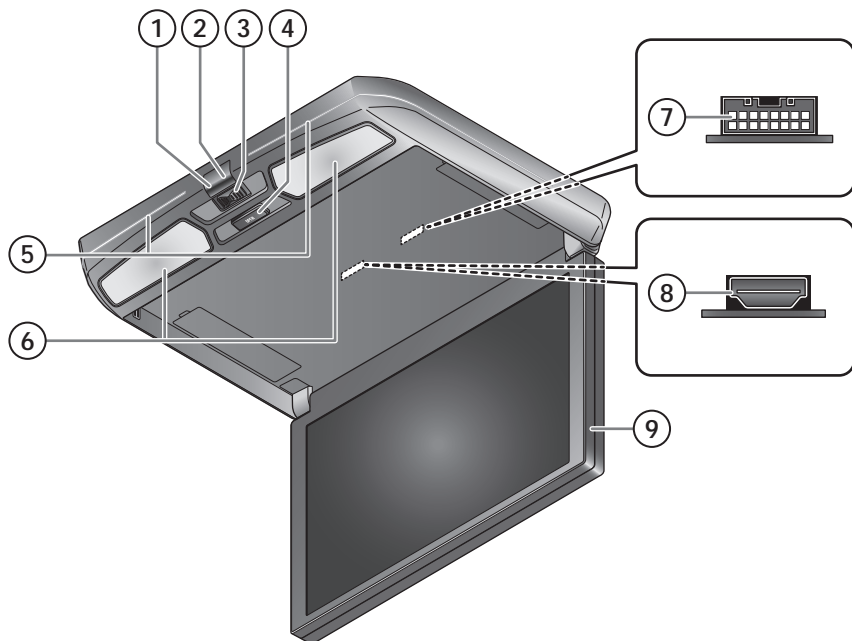


保証書は「お買い上げ日・販売店」などの記入をお確かめの上、大切に保管してください。

※ この取扱説明書のイラスト・画面などは説明のため、実際のものとは異なる場合があります。

※ 電源・AV インターフェースケーブルのヒューズ規定容量は 3A および 2A です。

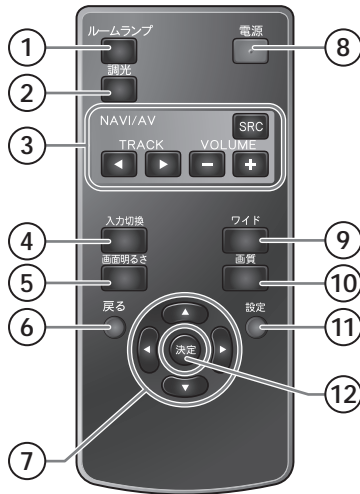
各部のなまえ



- ① リモコン信号受光部
- ② 外光センサー
周囲の明るさに合わせて画面の明るさやイルミネーションの点灯・消灯を自動調整するためのセンサーです (☞ 15 ページ)。
- ③ ルームランプスイッチ
ルームランプを点灯・消灯します (☞ 17 ページ)。
- ④ OPEN ボタン
パネル (液晶画面部分) を開きます (☞ 12 ページ)。
- ⑤ イルミネーション (☞ 24 ページ)
- ⑥ LED ルームランプ (☞ 17 ページ)
- ⑦ 電源・AV インターフェースケーブル接続端子 (☞ 29 ページ、31 ページ)
- ⑧ HDMI 入力端子 (☞ 29 ページ、32 ページ)
- ⑨ 液晶画面

各部のなまえ (リモコン)

準備する

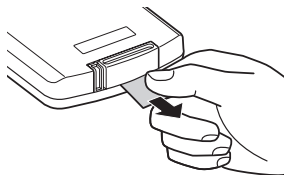


- ① **ルームランプボタン**
ルームランプを点灯・消灯します (☞ 17 ページ)。
- ② **調光ボタン**
ルームランプの明るさを調整します (☞ 17 ページ)。
- ③ **NAVI / AV コントロールボタン**
 - ・ TRACK ◀ / ▶ ボタン
 - ・ VOLUME - / + ボタン
 - ・ SRC ボタン

本機に接続したカロッツェリアのカーナビゲーションなどメインユニットの一部の操作を本機のリモコンで行うためのボタンです。
※ すべての製品に対応しているわけではありません。
※ 本機のリモコンをカーナビゲーションなどメインユニットへ向けて操作してください。
- ④ **入力切替ボタン**
映像入力を切り換えます (☞ 13 ページ)。
- ⑤ **画面明るさボタン**
画面の明るさを切り換えます (☞ 15 ページ)。
- ⑥ **戻るボタン**
メニュー操作時に使います (☞ 18 ページ)。
- ⑦ **▲ / ▼ / ◀ / ▶ ボタン**
メニュー項目を選択します (☞ 18 ページ)。
- ⑧ **電源ボタン**
電源をオン・オフします (☞ 12 ページ)。
- ⑨ **ワイドボタン**
画面の拡大方法を切り換えます (☞ 14 ページ)。
- ⑩ **画質ボタン**
映像の画質を切り換えます (☞ 16 ページ)。
- ⑪ **設定ボタン**
メニュー画面を表示・非表示します (☞ 18 ページ)。
- ⑫ **決定ボタン**
メニュー操作時に使います (☞ 18 ページ)。

リモコンを準備する

リモコンにはあらかじめ電池が入っています。
ご使用前に絶縁フィルムを引き抜いてください。



使いかた

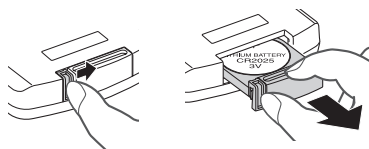
- リモコンの先端部を、リモコン受光部に向けて操作してください。
リモコンの操作範囲はリモコン受光部が見える、およそ3メートル以内です。
- リモコン操作で本機が動作しない場合は、リモコンの電池寿命が考えられます。新しい電池に交換してください。
- リモコンを直射日光の当たる場所に放置したり、取り付けないでください。熱により変形したり、誤動作する場合があります。
- リモコン受光部に直射日光や強い照明が当たっているとリモコン操作がしにくくなります。照明の向きを変えるか、リモコンをリモコン受光部に近づけて操作してください。
- リモコンを落としたり、強い衝撃を与えないでください。また、水にぬらしたり温度の高いところに置かないでください。
- リモコンを高温になる場所で保管しないでください。電池の特性により、早く消耗することがあります。

準備する

電池の交換のしかた

1 電池ホルダーを引き出す

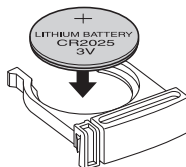
ロック部を内側に押さえながらくぼみにツメを引っ掛けて引き抜きます。



2 電池を入れる

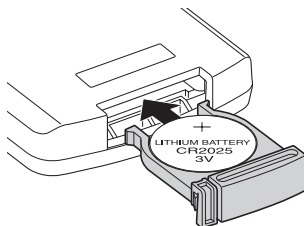
古い電池を取り出し、新しい電池を+（プラス）側を上にして電池ホルダーに入れます。

使用電池 | リチウム電池 CR2025



3 電池ホルダーを差し込む

右図の方向でリモコン本体に電池ホルダーを差し込みます。



操作する

電源オン・オフのしかた

1 車のエンジンをかける

⚠️ ご注意

- 車のバッテリーの消耗を防ぐため、必ずエンジンをかけてください。



2 本機の電源をオンにする

本体の **OPEN** ボタンを押してパネルを開くと、自動的に電源が入ります。

リモコンで操作するとき

(パネルが開いた状態で、本機の電源がオフのときに) リモコンの**電源**ボタンを押すと、電源が入ります。

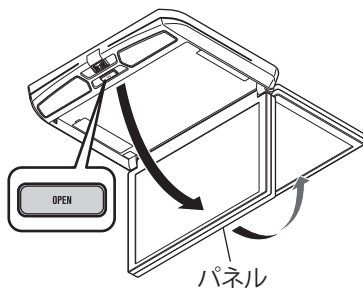
パネルを開く・閉じる

本体の **OPEN** ボタンを押すと、パネル部分が少し開きます。そこからパネル部分を手で開き、見やすい角度に適宜調整してください。

※ パネル部分は 180° まで開くことができます。

閉じるときは、パネル部分をゆっくりと元の位置まで持ち上げてください。

「カチッ」と音がして、確実に本体に格納されたことを確認してください。



3 電源をオフにするときは…

パネルを閉じると、自動的に電源が切れます。

リモコンで操作するとき

リモコンの**電源**ボタンを押すと電源が切れます。

📢 お知らせ

- ご使用後は、必ずパネル部分を持ち上げて本体に格納してください。

■ 入力を切り換える

地上デジタルチューナーや DVD プレーヤーなどをつないで、最大 3 系統の入力映像を切り換えて表示できます。

入力を切り換えるには以下の方法で行います。

入力切替ボタンを押す

押すたびに以下のように切り換わります。

[VIDEO1] → [VIDEO2] → [HDMI] → [VIDEO1] に戻る

※ 切り換えた際、画面右上に現在の入力が表示（約 3 秒間）されます。



ご参考

- 機器が接続されていないなど、切り換えた入力からの映像信号がない場合は、画面右上に表示される現在の入力表示は消えません。
また、[VIDEO2] を表示しているときに、入力からの映像信号がない場合はロゴ画面が表示されます。
- 画面に表示される名称を「カーナビ 1」、「DVD1」など、接続した機器に合わせて変更することもできます（「入力端子の設定」[☞](#) 24 ページ）。

■ ワイドモードを切り換える

映像を画面いっぱいに拡大表示したり、入力映像に合わせてモードを選んで表示できます。

ワイドボタンを押す

押すたびに以下のように切り換わります。

[FULL] → [NORMAL] → [JUST] → [ZOOM] → [CINEMA] → [FULL] に戻る

※ 切り換えた際、画面左下に現在のモードが表示（約3秒間）されます。

FULL	映像を左右方向に拡大し、画面いっぱいに表示します。 縦横比が 4 : 3 の入力映像の場合、横長の映像となります。
NORMAL	画面の左右に黒い帯が表示されます。 縦横比が 16 : 9 の入力映像の場合、縦長の映像となります。
JUST	映像を左右方向に拡大し、画面いっぱいに表示します。 拡大率は画面中央付近は小さく、画面の左右端に近づくにつれ大きくなります。
ZOOM	映像を上下・左右方向に均一に拡大して表示します。 映像の周囲（上下左右の一部）がカットされます。
CINEMA	映像を上下方向に拡大し、画面いっぱいに表示します。 映像の上下がカットされます。

ⓘ ご注意

- 「JUST」、「ZOOM」および「CINEMA」モードでは映像中、画面に表示しきれない部分が生じます。

■ モニター画面の明るさを切り換える

本機はモニター画面の明るさを調節できる、ディマー機能を搭載しています。「AUTO」モードを選択すれば、センサーが周囲の明るさを検知して自動で最適な明るさに調光します。

画面明るさボタンを押す

押すたびに以下のように切り換わります。

[AUTO] → [昼間] → [夕方] → [夜] → [AUTO] に戻る

※ 切り換えた際、画面左下に現在のモードが表示（約3秒間）されます。

AUTO	本体前面にある外光センサーで周囲の明るさを検知し、最適な明るさに自動調光します。
昼間	昼間など、周囲の明るさが明るいときに最適なモードです。
夕方	夕方など、周囲の明るさが薄暗いときに最適なモードです。
夜	夜間など、周囲の明るさが暗いときに最適なモードです。



ご参考

- 「昼間」、「夕方」、「夜」各モードの初期設定値（明るさ）を変更することができます（☞ 21 ページ）。

映像に適した画質に切り換える

表示する映像に合わせて、ボタンひとつで最適な画質に切り換えることができます。

画質ボタンを押す

押すたびに以下のように切り換わります。

[DYNAMIC] → [STANDARD] → [CINEMA] → [USER] → [DYNAMIC] に戻る

※ 切り換えた際、画面左下に現在のモードが表示（約3秒間）されます。

DYNAMIC	コントラストを強調した、メリハリのある映像にします。
STANDARD	標準の設定です。
CINEMA	コントラストを抑え、暗い映像も見やすくします。
USER	明るさやコントラストなどをユーザーが自由に設定できるモードです。 ※ 設定のしかたは (☞ 20 ページ)



ご参考

- 各モードの初期設定値（明るさ、コントラストなど）を変更することができます (☞ 20 ページ)。

ルームランプを操作する

本機は、本体にルームランプを搭載しています。ルームランプの点灯・消灯は、本体およびリモコンで操作できるほか、車両のドアの開閉に連動させることもできます。

また、点灯時の明るさを調節するなど、お好みに合わせて設定を変更することができます。



ご参考

- ルームランプに関する各種設定（点灯時の明るさや点灯・消灯パターンなど）については「ルームランプ設定」（☞ 23 ページ）をご覧ください。

ルームランプを点灯・消灯する

ルームランプボタンを押す

押すたびに点灯・消灯が切り換わります。

※ 本体のルームランプスイッチでも操作できます。

ルームランプの明るさを調節する

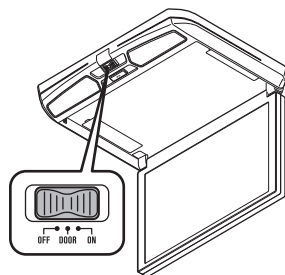
調光ボタンを押す

押すたびに3段階で調光します。

[中] → [強] → [弱] → [中] に戻る

本体のルームランプスイッチについて

ルームランプの点灯・消灯は本体側でも行えます。また、本体のルームランプスイッチを「DOOR」にすると、車両のドアの開閉に連動してルームランプが点灯・消灯します。



ON	点灯
DOOR	車両ドアの開閉に連動して点灯・消灯
OFF	消灯

各種設定のしかた

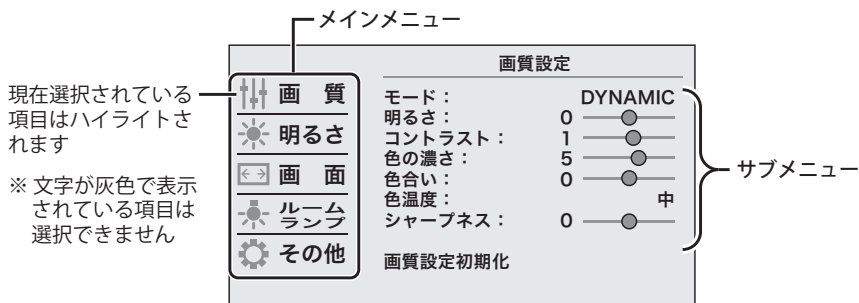
メニューについて

メニュー操作・設定のしかた

メニューの表示や操作、設定には以下のボタンを使用します。

操作の内容	使用するボタン
メニュー画面を表示する／消す	設定ボタン
メニューの項目や設定値を選ぶ	▲／▼／◀／▶ボタン
選んだ項目や設定値を確定する	決定ボタン
ひとつ前の項目に戻る	戻るボタン

各種設定のしかた



画面例は「画質設定」メニューを選択した状態です。

- 1 設定ボタンを押す**
メニュー画面が表示されます。
- 2 ▲／▼ボタンでメインメニューを選び、決定ボタン（または▶ボタン）を押す**
決定ボタンを押すと、ハイライトがサブメニューに移動します。
※ 戻るボタン（または◀ボタン）を押すとひとつ前の状態に戻ります。
- 3 設定するサブメニューを▲／▼ボタンで選び、決定ボタンを押す**
サブメニューの設定値が選択できるようになります。
- 4 設定値を▲／▼ボタンで選ぶ**
※ 項目によっては◀／▶ボタンを使う場合もあります。
- 5 設定値を確定するには、決定ボタンを押す**
設定が確定され、ひとつ前の画面に戻ります。
- 6 終了するには設定ボタンを押す**
メニュー画面を終了します。

メニューについて (つづき)

メニュー項目一覧

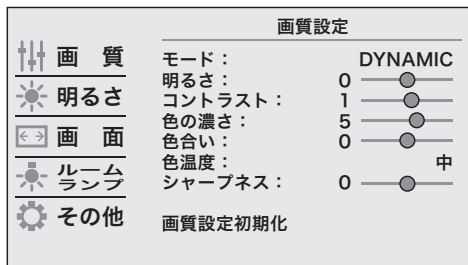
本機の設定メニューは下表のような構成になっています。

メニュー名	設定項目	設定値		
画質 (⇒ 20 ページ)	モード	DYNAMIC / STANDARD / CINEMA / USER		
	明るさ	- 24 ~ + 24		
	コントラスト	- 24 ~ + 24		
	色の濃さ	- 24 ~ + 24		
	色合い	- 24 ~ + 24		
	色温度	高 / 中 / 低		
	シャープネス	- 7 ~ + 7		
明るさ (⇒ 21 ページ)	モード	AUTO / 昼間 / 夕方 / 夜		
	昼間	1 ~ 32		
	夕方	1 ~ 32		
	夜	1 ~ 32		
画面 (⇒ 21 ページ)	現在のワイドモード	FULL / NORMAL / JUST / ZOOM / CINEMA		
	自動ワイド切換	切 / 入		
	4 : 3 のワイドモード	切 / FULL / NORMAL / JUST / ZOOM / CINEMA		
	オバースキャン	VIDEO1	切 / 入	
		VIDEO2	切 / 入	
HDMI		切 / 入 / AUTO		
垂直表示位置設定	- 7 ~ + 7			
ルームランプ (⇒ 23 ページ)	明るさ	弱 / 中 / 強		
	フェードイン	切 / 1 / 2		
	フェードアウト	切 / 1 / 2		
	オフタイマー	切 / 5 分 / 10 分 / 30 分		
	ドアクローズ連動	遅延なし / 5 秒 / 10 秒 / 30 秒		
その他 (⇒ 24 ページ)	音声レベル	- 5 ~ + 5		
	イルミネーション	動作	外光連動 / 点灯 / 消灯	
		明るさ	1 / 2 / 3	
	入力端子の設定	VIDEO1	-- / カーナビ 1 / DVD1 / ブルーレイ 1 / チューナー 1 / GAME1 / PC1 / スキップ	
		VIDEO2	-- / カーナビ 2 / DVD2 / ブルーレイ 2 / チューナー 2 / GAME2 / PC2 / スキップ	
		HDMI	-- / カーナビ 3 / DVD3 / ブルーレイ 3 / チューナー 3 / GAME3 / PC3 / スキップ	
	HDMI リンク設定 ※接続状況によっては動作しない場合があります。	HDMI リンク	切 / 入	
		電源連動 (モニター → 接続機器)	切 / 入	
		電源連動 (接続機器 → モニター)	切 / 入	
		自動入力切換	切 / 入	
		HDMI 接続機器操作	録画リスト / 予約リスト / 放送切換 / メニュー / ルートメニュー / メディアメニュー / 画面表示 / 録画 / ディスク交換 / 電源	
		HDMI 接続機器一覧	更新する	
		バージョン	ソフトウェアバージョンを表示	

各種設定のしかた

画質設定

表示画質に関する設定をすることができます。



各種設定のしかた

モード

映像内容に適した画質に調節します。

DYNAMIC	コントラストを強調した、メリハリのある映像にします。
STANDARD	標準の設定です。
CINEMA	コントラストを抑え、暗い映像も見やすくします。
USER	各設定値をお好みに合わせて設定できるモードです。

各モードの設定値（明るさ・コントラスト・色の濃さ・色合い・色濃度・シャープネス）は、お好みに合わせて変更することができます。

変更するときは、設定を行いたいモードを選び、各項目を設定してください。

明るさ

画面の明るさを調節します。

設定値	- 24 ~ + 24
-----	-------------

コントラスト

画面の明暗の差を調節します。

設定値	- 24 ~ + 24
-----	-------------

色の濃さ

画面の色の濃さを調節します。

設定値	- 24 ~ + 24
-----	-------------

色合い

画面の色合いを調節します。

設定値	- 24 ~ + 24
-----	-------------

色温度

高・中・低と切り換えるにつれて、赤みがかった暖かみのある色調になります。

高	青みが強い寒色系の色味になります。
中	標準の設定です。
低	赤みが強い暖色系の色味になります。

シャープネス

画面の輪郭を調節します。






設定値	- 7 ~ + 7
-----	-----------

画質設定初期化

「画質設定」を工場出荷時の状態に戻します。

明るさ設定

画面明るさボタンを押したときの設定モードと、各モードの値を設定できます。

画面明るさ設定	
 画質	モード： 昼間 3 2
 明るさ	夕方： 2 5
 画面	夜： 1 5
 ルームランプ	画面明るさ設定初期化
 その他	

モード

画面明るさのモードを設定します。

画面明るさボタンの設定と連動します。

AUTO	各モードの詳細については「モニター画面の明るさを切り換える」(☞ 15 ページ)をご覧ください。
昼間	
夕方	
夜	

昼間・夕方・夜

各モードの値を調節します。

設定値	1 (暗い) ~ 32 (明るい)
-----	-------------------






画面明るさ設定初期化

「画面明るさ設定」を工場出荷時の状態に戻します。

各種設定のしかた

画面設定

画面表示に関する設定をすることができます。

画面設定	
 画質	現在のワイドモード： JUST
 明るさ	自動ワイド切替： 切
 画面	4:3のワイドモード： FULL
 ルームランプ	オーバースキャン 垂直位置表示設定： 0
 その他	画面設定初期化

(次ページへ続く)

画面設定 (つづき)

現在のワイドモード

映像のワイドモードを切り換えます。

※リモコンの**ワイド**ボタンを押しても切り換えることができます。

FULL	
NORMAL	各モードの詳細については「ワイドモードを切り換える」(☞14 ページ)をご覧ください。
JUST	
ZOOM	
CINEMA	

自動ワイド切換

「入」にすると、映像信号に縦横比情報が検出された場合、自動ワイド切換機能が働きます。

切	自動ワイド切換を切にします。
入	自動ワイド切換を入にします。

4：3のワイドモード

ワイド情報のない映像信号を受信したときの表示モードを設定します。

切	最後に設定したワイドモードで表示されます。
FULL	
NORMAL	各モードの詳細については「ワイドモードを切り換える」(☞14 ページ)をご覧ください。
JUST	
ZOOM	
CINEMA	

オーバースキャン

決定ボタンを押すと、「オーバースキャン」画面が表示されます。

設定を「入」にすると、画面の不要な部分をカットして画面に映らないようにします。

ゲーム機など画面の縁いっぱいまで映像があるものは、設定を「切」にしてください。

HDMI 接続機器から本体情報やオーバースキャンの情報が取得できる場合は、「AUTO」にすると自動的に最適な設定になります。

※各映像入力ごとに設定できます。

入	通常のテレビ放送を表示する場合に選びます。
切	携帯電話などのポータブル機器の映像を表示する場合に選びます。
AUTO*	HDMI 接続機器から本体情報やオーバースキャンの情報が取得できる場合に選びます。

* HDMI 入力の設定時にのみ選択できます。

※「オーバースキャン設定初期化」を選ぶと、設定を工場出荷時の状態に戻します。

垂直表示位置設定

画面位置を上下に調節します。

※「現在のワイドモード」が「ZOOM」または「CINEMA」のときに選択できます。






設定値	-7 ~ +7
-----	---------

画面設定初期化

「画面設定」を工場出荷時の状態に戻します。

ルームランプ設定

ルームランプに関する設定をすることができます。

ルームランプ設定	
 画質	明るさ： 強
 明るさ	フェードイン： 1
	フェードアウト： 2
 画面	オフタイマー： 5分
	ドアクローズ運動： 遅延なし
 ルームランプ	ルームランプ設定初期化
 その他	

明るさ

点灯時の照度を切り換えます。

※ リモコンの調光ボタンを押しても切り換えることができます。

弱	暗い
中	標準
強	明るい

フェードイン・フェードアウト

点灯時・消灯時のパターンや、フェード効果（ゆっくり点灯・ゆっくり消灯）を設定します。

切	点灯時・消灯時に、フェード効果を使用しません。
1	フェード効果（ゆっくり点灯・ゆっくり消灯）に設定します。
2	「1」よりもゆっくりとしたフェード効果（ゆっくり点灯・ゆっくり消灯）に設定します。

オフタイマー

ルームランプ点灯時にエンジンキーをオフにした場合、あるいはエンジンキーオフ時にルームランプを点灯した場合に、バッテリー上がり防止のため一定時間経過後に自動で消灯するよう設定します。

切	オフタイマー機能を使用しません。
5分	5分経過後に自動消灯します。
10分	10分経過後に自動消灯します。
30分	30分経過後に自動消灯します。

ドアクローズ運動

車両のドアを閉めたあとにルームランプが消灯するタイミングを遅らせる、ディレイ（遅延）機能を設定します。

遅延なし	ディレイ（遅延）機能を設定しません。
5秒	ディレイ（遅延）を5秒に設定します。
10秒	ディレイ（遅延）を10秒に設定します。
30秒	ディレイ（遅延）を30秒に設定します。

お知らせ






- 車種により、ドアを閉めた後もルームランプが一定時間点灯し続ける場合があります。その場合は「遅延なし」を選択しても一定時間、本機のルームランプは点灯し続けます。

ルームランプ設定初期化

「ルームランプ設定」を工場出荷時の状態に戻します。

その他の設定

その他の設定をすることができます。

その他の設定	
 画質	音声レベル： +5
 明るさ	イルミネーション
 画面	入力端子の設定
 ルームランプ	HDMIリンク設定
 その他	設定初期化
	バージョン： XXXX-XX

各種設定のしかた

音声レベル

HDMI 入力の音声信号を、本機の HDMI 音声出力端子から出力する際の出力ボリュームを調整します。

設定値	-5 ~ +5
-----	---------

イルミネーション

イルミネーションの点灯・消灯を設定します。点灯・消灯は外光の明るさに連動させることもできます。

明るさは3段階から選べます。

動作	外光連動 / 点灯 / 消灯
明るさ	1 / 2 / 3

入力端子の設定

決定ボタンを押すと、「入力端子の設定」画面が表示されます。

入力切換時、画面右上に表示される入力名称を、接続した機器の種類に合わせて変更できます。また、設定を「スキップ」にすると、お使いでない外部入力端子を入力切換の際にスキップさせることができます。

設定できる名称は下表の通りです。

入力	設定できる名称
VIDEO1	--- / カーナビ1 / DVD1 / ブルーレイ1 / チューナー1 / GAME1 / PC1 / スキップ
VIDEO2	--- / カーナビ2 / DVD2 / ブルーレイ2 / チューナー2 / GAME2 / PC2 / スキップ

HDMI	--- / カーナビ3 / DVD3 / ブルーレイ3 / チューナー3 / GAME3 / PC3 / スキップ
------	---

※元の表示（VIDEO1 など）に戻すには「---」を選びます。

※「入力端子の初期化」を選ぶと、設定を工場出荷時の状態に戻します。

HDMI リンク設定

詳しくは「HDMI リンク」(☞次ページ)をご覧ください。

バージョン

ソフトウェアのバージョンを表示します。

設定初期化

詳しくは「すべての設定を初期化する（リセット）」(☞27ページ)をご覧ください。

HDMI リンク

HDMI リンクは、本機の HDMI 端子につないだ再生機器などを本機と連動操作して、より便利にお使いいただける機能です。






お知らせ

- 本機は HDMI CEC (Consumer Electronics Control) 規格に対応した機器との間で連動操作を行うことができます。ただし上記規格に対応した機器であっても、各機器メーカー独自の拡張機能や互換性等により、本機能の一部、または全部が正常に動作しない場合があります。

1 「その他の設定」メニュー（←前ページ）で「HDMI リンク設定」を選び、決定ボタンを押す

HDMI リンク設定画面が表示されます。

- ※ 選択できない(灰色で表示されている)項目は「HDMI リンク」を「入」にすると選択できるようになります。

HDMI リンク設定	
 画質	HDMI リンク： 切
 明るさ	電源連動(モニター→接続機器)： 入
 画面	電源連動(接続機器→モニター)： 入
 ランク	自動入力切換： 入
 その他	HDMI 接続機器操作
	HDMI 接続機器一覧

2 設定したい項目を選んで決定ボタンを押す

設定項目および内容については下記をご覧ください。

HDMI リンク

HDMI リンク機能を有効・無効に設定します。

切	HDMI リンク機能を無効にする
入	HDMI リンク機能を有効にする

※設定を「入」にすると、下記の項目を選択、設定できるようになります。

- ・ 電源連動 (モニター→接続機器)
- ・ 電源連動 (接続機器→モニター)
- ・ 自動入力切換
- ・ HDMI 接続機器操作
- ・ HDMI 接続機器一覧

電源連動 (モニター→接続機器)

本機の電源を「切」にすると、接続されている HDMI リンクに対応した全ての機器の電源を連動して「切」にします。

また、HDMI 接続機器一覧から接続機器を選択すると、選択した機器の電源を連動して「入」にします。

切	設定しない
入	設定する

HDMI リンク (つづき)

電源連動 (接続機器→モニター)

本機の電源が「切」の状態では接続機器側で再生等の操作をすると、連動してモニターの電源が「入」になります。

切	設定しない
入	設定する

自動入力切換

本機の電源が「入」のとき、接続機器側で再生等の操作をすると、映像入力が自動的に HDMI 入力に切り換わります。

切	設定しない
入	設定する

※ 設定を「入」にすると、電源連動 (接続機器→モニター) も「入」に設定した場合、本機の電源が「切」のときでも、HDMI 接続機器の電源が「入」になると本機の電源も「入」になり、続けて映像入力が HDMI 入力に切り替わります。

HDMI 接続機器操作

接続した HDMI 接続機器の電源入・切や再生・停止など、本機から操作できます。

※ 接続機器によっては操作ができない、あるいは一部のメニュー項目しか操作できない場合があります。

HDMI 接続機器一覧

HDMI リンクを「入」にすると、本機と接続機器の間で通信を行い、HDMI 接続機器から機器名称 (アルファベットと数字からなる型番など) を取得します。取得した機器名称は入力切換時等に画面右上に表示されます。

お知らせ

● 接続機器名が一覧に表示されないときは…

接続した機器の電源が「入」、または待機 (スタンバイ) 状態になっている必要があります。

新たに機器を接続した場合や、何らかの理由により機器間でうまく連動ができなかった場合などは、「更新する」を押すことで一覧に表示される場合があります。

一覧に表示されている機器に入力を切り換えることもできます。

▲/▼ボタンで機器を選んで決定ボタンを押すと、HDMI 入力画面に切り換わります。

(入力がすでに HDMI 入力になっている場合は、機器名横に☆マークが表示されます。)

※「自動入力切換」が「入」になっている必要があります。

すべての設定を初期化する（リセット）

本機のすべての設定をリセットし、工場出荷時の状態に戻します。

ⓘ ご注意

- この操作は、本機のすべての設定をリセットしますのでくれぐれもご注意ください。

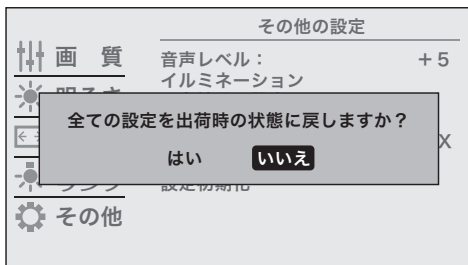
メニュー単位で設定をリセットしたい場合は、各メニュー内の最下部にある「○○設定初期化」から行ってください。

例：「画質設定」の設定内容のみをリセットしたい場合

1. 「画質設定」メニューを選んで**決定**ボタンを押す
2. 最下部の「画質設定初期化」を選んで**決定**ボタンを押す
設定が直ちにリセットされます。
(確認画面は表示されませんのでご注意ください。)

1 「その他の設定」メニュー（ 24 ページ）で「設定初期化」を選び、**決定**ボタンを押す

設定初期化の確認画面が表示されます。



2 すべての設定を初期化するには「はい」を選び、**決定**ボタンを押す

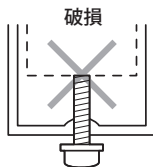
押すとただちに設定がリセットされ、本機が自動的に再起動します。必要に応じ、設定等の操作を行ってください。

接続のしかた

■ 接続の前に ～ 知っておいていただきたいこと ～

取り付け上のご注意

- 必ず付属の部品を指定どおりに使用してください。指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品をいためたり、しっかりと固定できずに外れたりして危険です。



⚠️ ご注意

配線時は以下にご注意ください

- モニター側のコネクタは、全ての配線が完了したあと、再度接続を確認してから接続してください。
 - 本機の電源はバッテリー電源・アクセサリ電源（ACC 電源）の双方から取るようになっています。接続を誤るとバッテリー上がりの原因となります。
 - ・ アクセサリ電源：エンジンキーを抜いたときに切れる。
 - ・ バッテリー電源（常時電源）：常に電源が入っている。
- ※ 必ず本機に対応したケーブルで配線してください。

📖 ご参考

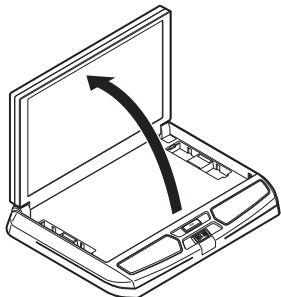
- 本機に電源・AV インターフェースケーブルを接続する際は、差し込む方向を確認してから、「カチッ」と音がするまでしっかりと差し込んでください。HDMI ケーブルも同様に、差し込む方向を確認してから奥までしっかりと差し込んでください。また、ケーブル類は無理に挿入しないでください。故障や破損の原因となります。
- 本機から電源・AV インターフェースケーブルを外すときは、必ずコネクタ部を持ち、ツメを押しながら引き抜いてください。また、HDMI ケーブルも必ずコネクタ部を持って引き抜いてください。コード部を引っ張ると、接続不良や断線の原因となります。

接続の前に ~ 知っておいていただきたいこと ~ (つづき)

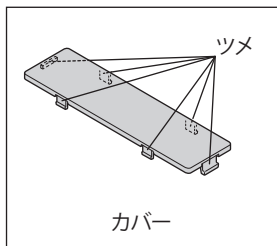
カバーの取り付け・取り外し

すべての接続および動作確認が完了してから、下図の要領でカバーを装着してください。

※ カバーは付属品です。製品開梱時、カバーは外した状態になっています。

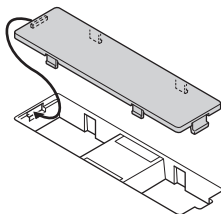


カバー脱着時は**OPEN**ボタンを押し、パネルを起こしてください

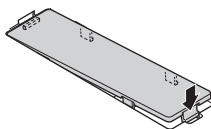


取り付けかた

奥側のツメを本体に差し込み、



手前側のツメを差し込む

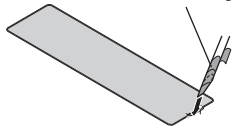


※ カバーは確実に取り付けてください。筐体面から飛び出した状態で使用すると、液晶画面を閉じたときに表面を傷つけるおそれがあります。

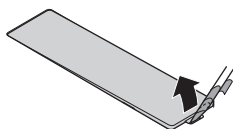
外しかた

手前側の穴にマイナスドライバーを差し込み、

ビニールテープ等※



軽く引き起こしてツメを外す



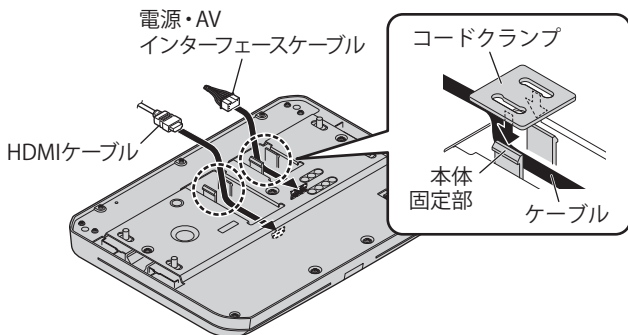
※ マイナスドライバーを使用する際、製品部分を傷つけないよう先端にビニールテープ等を巻いてください。

接続のしかた

ケーブル類の取り回し

各ケーブル類を接続する端子は、本体裏側にあります。

下図の要領で本体裏側の各端子に接続し、コードクランプを取り付けてください。

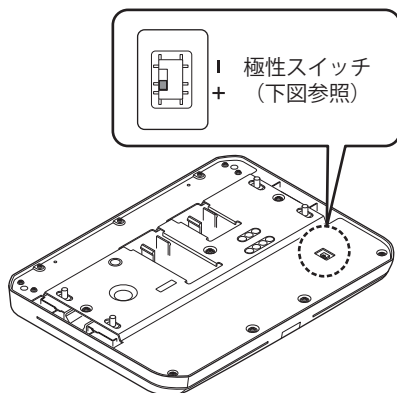
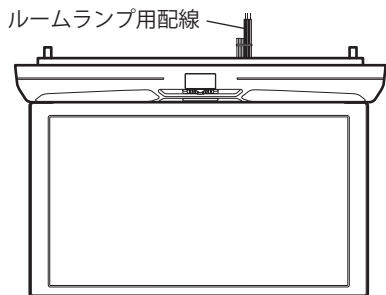


■ 接続の前に ~ 知っておいていただきたいこと ~ (つづき)

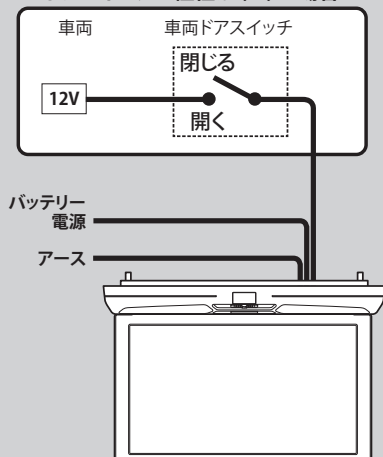
ルームランプの極性スイッチについて

ドアスイッチの極性は車両により異なります。下図および下表を参照の上、取り付ける車両に合わせて極性スイッチを切り換えてください。詳しくは別売の取付キットに付属の取付説明書をご覧ください。

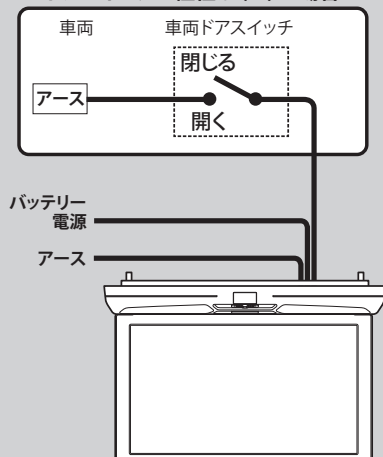
極性+	ドア（緑線）が開いているとき、 ドアの信号は「12V」となります。
極性-	ドア（緑線）が開いているとき、 ドアの信号は「アース」となります。



ドアスイッチの極性が(+)の場合



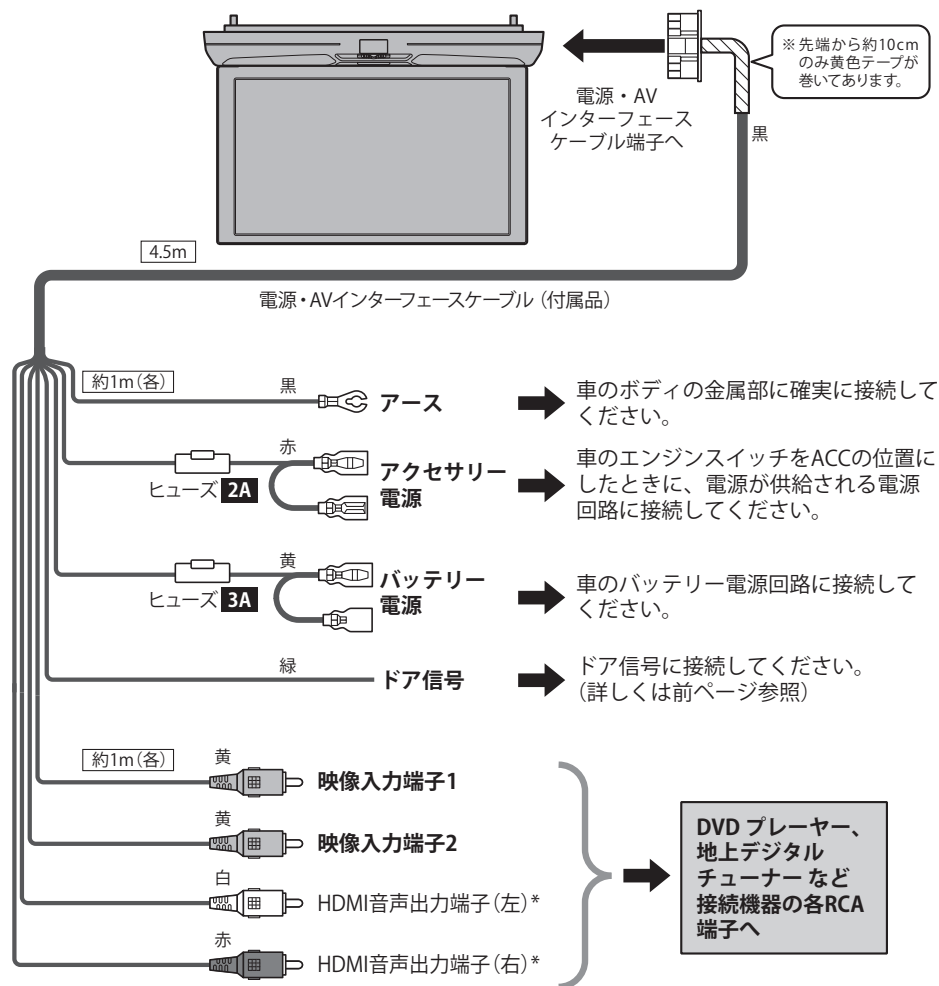
ドアスイッチの極性が(-)の場合



電源・AV インターフェースケーブルをつなぐ

取付キット（別売）の接続および取り付け方は、取付キットに付属の取付説明書をご覧ください。

専用の電源・AV インターフェースケーブル（付属品）を使用して各部に配線・接続します。
接続について詳しくはお求めの販売店にお問い合わせください。



*本機にHDMI機器を接続する場合にのみ使用します。
(接続については次ページ参照)

接続のしかた

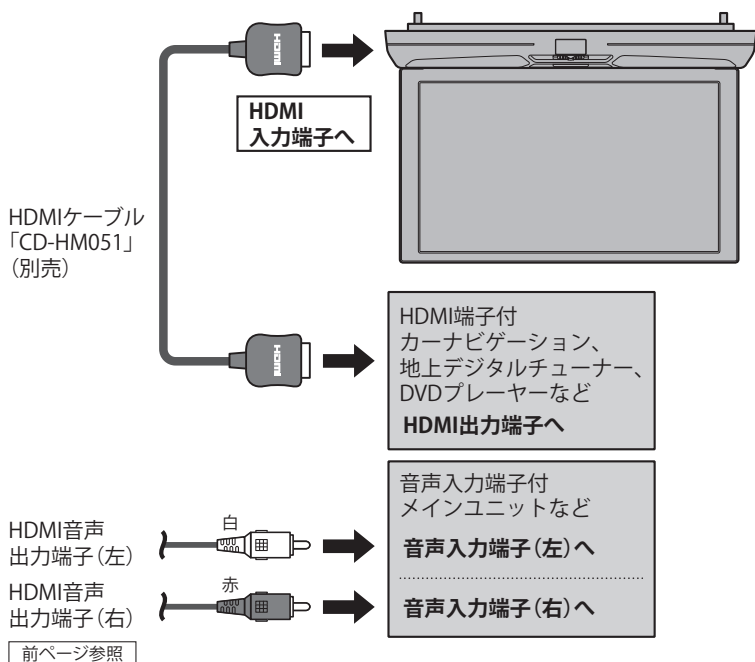
HDMI 接続機器をつなぐ

HDMI ケーブル「CD-HM051」(別売)を使用して接続します。

HDMI 接続機器からの音声を車両に装着されたスピーカーから出力したい場合は、電源・AV インターフェースケーブル(付属品)の HDMI 音声出力端子(左・右)を使用し、カーナビゲーションなどメインユニットの音声入力端子へ接続します。

接続について詳しくはお求めの販売店にお問い合わせください。

※ HDMI ケーブルは別途、専用の HDMI ケーブルをお買い求めください。市販の HDMI ケーブルを使用すると、コードクランプが取り付けなかったり、コネクタ部の破損の原因となります。



※ HDMI, HDMI ロゴおよび High-Definition Multimedia Interface は HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。



ご参考

HDMI 端子について

- 映像・音声およびコントロール信号を1本のケーブルでデジタル伝送できるため、デジタルハイビジョン放送などをより鮮明な映像で楽しめます。



ご注意

- 接続する機器によっては、映像や音声が正常に出力されない場合があります。その際は他の出力端子をご使用ください。




おもな仕様

型番		TVM-FW1100-B/-S
品名		11.6V 型ワイド XGA フリップダウンモニター
本体寸法 (突起部含まず)		316mm (W) × 37.8mm (H) × 240mm (D)
製品高さ (設置後)	パネル開時 (0°)	31.8mm
	パネル開時 (90°)	200.5mm
パネル開閉角度 (調整範囲)		0° ~ 180° (無段階)
本体質量		約 2.0kg
使用電圧		DC 14.4V (10.8V ~ 15.1V 使用可能)
最大消費電流		1.5A
アース方式		マイナスアース方式
使用温度範囲		- 10°C ~ + 60°C
液晶 パネル	画面サイズ	11.6V 型ワイド XGA
	有効表示エリア	横 256.13mm × 縦 144mm
	表示方式	透過型 IPS 液晶
	駆動方式	TFT アクティブマトリックス方式
	解像度	横 1366 × 縦 768
使用光源		LED
入出力 端子	ビデオ入力端子	2 系統
	音声出力端子	1 系統
	HDMI 入力端子	1 系統 (480i/480p/1080i/720p/1080p)
付属品	電源・AV インター フェースケーブル	1 本
	コードクランプ	2 個
	リモコン	1 個 (含リチウム電池 CR2025 × 1 個)
	カバー	2 個

- 仕様、外観などは改良のため予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

故障かな?と思ったら

修理を依頼される前に次のことをもう一度お調べください。

こんなときには…	ここをご確認ください	ページ
<p>映像も音声も出ない</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ● エンジン ON または ACC-ON になっていますか？ ● パネル（液晶画面部分）は開いていますか？ ● リモコンの電源ボタンは押しましたか？ ● 正しく接続されていますか？コネクタやケーブルがゆるんだり、外れたりしていませんか？ ● 接続機器から正しく出力されていますか？ ● 各種設定は正しいですか？ ● ヒューズが切れていませんか？ヒューズが切れた原因を解決してから、切れたヒューズと同じ容量のものと交換してください。 ● 本機は、周囲の温度が高いと判断すると保護機能により電源が入らなくなります。エアコンを使用するなど、車内の温度を下げてください。 ● 入力切換で、機器が接続されていない入力を選んでいませんか？ 	<p>12 12 12 31, 32 — 18 ~ 26 31 35 13</p>
<p>音声が出ない</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ● 音声レベルが最小になっていませんか？ ● 音声出力端子は接続機器の音声入力端子に接続されていますか？ 	<p>24 31</p>
<p>映像が横長や縦長になる</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ● ワイドモードを変更してみてください。 選んだワイドモードによって映像が横長や縦長表示になる場合があります。 	<p>14, 22</p>
<p>映像が明るい、または暗い</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 明るさの調整が適切でない。 ● コントラストの調整が適切でない。 ● 本機は、周囲の温度が高いと判断すると保護機能により液晶画面が暗くなります。エアコンを使用するなど、車内の温度を下げてください。 ● 本機は画面の明るさを調節する、ディマー機能を搭載しています。他のモードに切り換えるか、各モードの明るさが最適となるよう調整・設定を行ってください。 (次ページへ続く) 	<p>20 20 35 15, 21</p>

故障かな?と思ったら(つづき)

こんなときには…	ここをご確認ください	ページ
映像が明るい、または暗い(つづき)	<ul style="list-style-type: none"> ● 本体前面にある外光センサーで周囲の明るさを検知し、最適な明るさに自動調光*するディマー機能を搭載しています。(※画面の明るさを「AUTO」モードに設定している場合のみ機能します。) ● 外光センサーが明るさを正しく検知できていない可能性があります。外光センサー部分にシールを貼ったり、物で覆ったりしていませんか？ 	9, 15
映像の色が濃い、薄い	<ul style="list-style-type: none"> ● 色の濃さの調整が適切でない。 ● 液晶モニターは、周囲の温度が高いと画面が暗くなる場合があります。エアコンを使用するなど、車内の温度を下げてください。 	20 —
映像の色合いがおかしい	<ul style="list-style-type: none"> ● 色合いの調整が適切でない。 ● 色温度の設定を変えてみてください。 	20 20
液晶画面の中に、小さな黒点や輝点がある	<ul style="list-style-type: none"> ● 液晶画面特有の現象で、故障ではありません。 	—
リモコンが動作しない	<ul style="list-style-type: none"> ● 電池は正しい向きで入っていますか？ ● リモコンの電池寿命が考えられます。 ● ライトなどの強い光や直射日光がリモコン受光部に当たっていませんか？ ● リモコンを本機のリモコン受光部に向けて操作していますか？ 	9, 11
車両のドアを開閉してもルームランプが点灯しない	<ul style="list-style-type: none"> ● モニター本体のルームランプスイッチが「OFF」になっていませんか？ 	17

ご参考

オーバーヒート検出について

本機は温度センサーを内蔵しており、機器温度が高すぎると判断した場合は内部回路の保護のため、液晶画面を暗くしたり動作を停止したりします。機器温度が低下すると自動的に通常動作に復帰します。

オーバーヒートが検出された場合はエアコンを使用するか、窓を開けるなどして車内の温度を下げてください。

急激な温度変化は機器に回復不可能な障害を与える場合があるため、保冷剤や氷などにより強制的に冷却することは絶対にしないでください。

■ フリーソフトウェアに関する重要なお知らせ

本機で使用しているソフトウェアのライセンス情報

本機に組込まれたソフトウェアは複数の独立したソフトウェアコンポーネントから構成され、個々のソフトウェアコンポーネントにはそれぞれ弊社または第三者の著作権が存在します。

本機のソフトウェアコンポーネントのうち、弊社が開発または作成したソフトウェアおよび付帯するドキュメント類には弊社の著作権が存在し、著作権法、国際条約およびその他の関連する法律により保護されています。

本機は第三者が著作権を所有し、第三者が規定した使用許諾契約書あるいは著作権通知に基づいてフリーソフトウェアとして配布しているソフトウェアコンポーネントを使用しています。

フリーソフトウェアの中には実行形式のソフトウェアコンポーネントを配布する条件として、そのソフトウェアコンポーネントのソースコードの入手を可能にするように求めているものがあります。該当するソースコードの複製物は配布に必要な費用をご負担いただくことでご入手いただけます。複製物を入手するためには弊社カスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

なお、フリーソフトウェアのソースコードの内容に関するお問い合わせはご遠慮ください。

また弊社が開発または作成したソフトウェアコンポーネントについてはソースコード提供の対象ではありません。

ご購入いただいた本機、製品として弊社所定の保証を致します。

ただし、フリーソフトウェアとして配布されるソフトウェアコンポーネントには、著作権者または弊社を含む第三者の保証がないことを前提に、お客様がご自身でご利用されることが認められるものがあります。この場合当該ソフトウェアコンポーネントは無償でお客様に使用許諾されますので、適用法令の範囲内で、当該ソフトウェアコンポーネントの保証は一切ありません。ここでいう保証とは市場性や特定目的適合性についての黙示の保証も含まれますが、それに限定されるものではありません。当該ソフトウェアコンポーネントの品質や性能に関するすべてのリスクはお客様が負うものとしま

す。また当該ソフトウェアコンポーネントに欠陥があると分かった場合、それに伴う一切の派生費用や修理・訂正に要する費用は、弊社は一切の責任を負いません。適用法令の定めがある場合を除き、著作権者や許諾を受けて当該ソフトウェアコンポーネントの変更・再配布を成しえる者は、当該ソフトウェアコンポーネントを使用したこと、または使用できないことに起因する損害について一切の責任を負いません。著作権者や第三者がそのような損害の発生する可能性を知らされていた場合でも同様です。ここでいう損害には、通常損害、特別損害、偶発損害、間接損害が含まれます（データの消失またはその正確さの喪失、お客様や第三者が被った損失、他のソフトウェアとのインターフェイスの不適合化等も含まれますが、これに限定されるものではありません）。当該ソフトウェアコンポーネントの使用条件やご遵守いただかなければならない事項等の詳細は、各使用許諾契約書をお読みください。

謝辞

本機には以下のフリーソフトウェアコンポーネントが組込まれています。
Linux Kernel
busybox

本機で使われるフリーソフトウェアコンポーネントに関する使用許諾契約書あるいは著作権通知 (原文)

本機で使われるフリーソフトウェアコンポーネントに関する使用許諾契約書あるいは著作権通知は、弊社以外の第三者による規定であるため、原文を記載します。

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2, June 1991

Copyright ©1989, 1991 Free Software Foundation, Inc.

51 Franklin St, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA

Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public License is intended to guarantee your freedom to share and change free software — to make sure the software is free for all its users. This General Public License applies

to most of the Free Software Foundation's software and to any other program whose authors commit to using it. (Some other Free Software Foundation software is covered by the GNU Library General Public License instead.) You can apply it to your programs, too.

When we speak of free software, we are referring to freedom, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish), that you receive source code or can get it if you want it, that you can change the software or use pieces of it in new free programs; and that you know you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid anyone to deny you these rights or to ask you to surrender the rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the software, or if you modify it.

For example, if you distribute copies of such a program, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that you have. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with two steps: (1) copyright the software, and (2) offer you this license which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the software.

Also, for each author's protection and ours, we want to make certain that everyone understands that there is no warranty for this free software. If the software is modified by someone else and passed on, we want its recipients to know that what they have is not the original, so that any problems introduced by others will not reflect on the original authors' reputations.

Finally, any free program is threatened constantly by software patents. We wish to avoid the danger that redistributors of a free program will individually obtain patent licenses, in effect making the program proprietary. To prevent this, we have made it clear that any patent must be licensed for everyone's free use or not licensed at all.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow.

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

■ フリーソフトウェアに関する重要なお知らせ (つづき)

0. This License applies to any program or other work which contains a notice placed by the copyright holder saying it may be distributed under the terms of this General Public License. The "Program", below, refers to any such program or work, and a "work based on the Program" means either the Program or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Program or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".) Each licensee is addressed as "you".

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running the Program is not restricted, and the output from the Program is covered only if its contents constitute a work based on the Program (independent of having been made by running the Program). Whether that is true depends on what the Program does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Program's source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and give any other recipients of the Program a copy of this License along with the Program.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Program or any portion of it, thus forming a work based on the Program, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

- a) You must cause the modified files to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.
- b) You must cause any work that you distribute or publish, that in whole or in part contains or is derived from the Program or any part thereof, to be licensed as a whole at no charge to all third parties under the terms of this License.
- c) If the modified program normally reads commands interactively when run, you must cause it, when started

running for such interactive use in the most ordinary way, to print or display an announcement including an appropriate copyright notice and a notice that there is no warranty (or else, saying that you provide a warranty) and that users may redistribute the program under these conditions, and telling the user how to view a copy of this License. (Exception: if the Program itself is interactive but does not normally print such an announcement, your work based on the Program is not required to print an announcement.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Program, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Program, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Program.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Program with the Program (or with a work based on the Program) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may copy and distribute the Program (or a work based on it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you also do one of the following:

- a) Accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,
- b) Accompany it with a written offer, valid for at least three years, to give any third party, for a charge no

more than your cost of physically performing source distribution, a complete machine-readable copy of the corresponding source code, to be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,

- c) Accompany it with the information you received as to the offer to distribute corresponding source code. (This alternative is allowed only for noncommercial distribution and only if you received the program in object code or executable form with such an offer, in accord with Subsection b above.)

The source code for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For an executable work, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the executable. However, as a special exception, the source code distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

If distribution of executable or object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place counts as distribution of the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

4. You may not copy, modify, sublicense, or distribute the Program except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense or distribute the Program is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

5. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Program or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept

■ フリーソフトウェアに関する重要なお知らせ (つづき)

this License. Therefore, by modifying or distributing the Program (or any work based on the Program), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Program or works based on it.

6. Each time you redistribute the Program (or any work based on the Program), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute or modify the Program subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties to this License.

7. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Program at all.

For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Program by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Program. If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system, which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make

thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

8. If the distribution and/or use of the Program is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Program under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

9. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Program specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Program does not specify a version number of this License, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

10. If you wish to incorporate parts of the Program into other free programs whose distribution conditions are different, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

11. BECAUSE THE PROGRAM IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE PROGRAM, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE PROGRAM "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS

FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE PROGRAM IS WITH YOU. SHOULD THE PROGRAM PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

12. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE PROGRAM AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE PROGRAM (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE PROGRAM TO OPERATE WITH ANY OTHER PROGRAMS), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Programs

If you develop a new program, and you want it to be of the greatest possible use to the public, the best way to achieve this is to make it free software which everyone can redistribute and change under these terms.

To do so, attach the following notices to the program. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<one line to give the program's name and a brief idea of what it does.>

Copyright© <year> <name of author>

This program is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or (at your option) any later version.

This program is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of

■ フリーソフトウェアに関する重要なお知らせ (つづき)

MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU General Public License along with this program; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 51 Franklin St, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

If the program is interactive, make it output a short notice like this when it starts in an interactive mode:

```
Gnomovision version 69, Copyright ©
year name of author Gnomovision
comes with ABSOLUTELY NO
WARRANTY; for details type `show
w'. This is free software, and you are
welcome to redistribute it under certain
conditions; type `show c' for details.
```

The hypothetical commands `show w' and `show c' should show the appropriate parts of the General Public License. Of course, the commands you use may be called something other than `show w' and `show c'; they could even be mouse-clicks or menu items--whatever suits your program.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the program, if necessary. Here is a sample; alter the names:

```
Yoodyne, Inc., hereby disclaims all
copyright interest in the program
Gnomovision (which makes passes
at compilers) written by James Hacker.
<signature of Ty Coon>, 1 April 1989
Ty Coon, President of Vice
```

This General Public License does not permit incorporating your program into proprietary programs. If your program is a subroutine library, you may consider it more useful to permit linking proprietary applications with the library. If this is what you want to do, use the GNU Library General Public License instead of this License.

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2.1, February 1999

Copyright ©1991, 1999 Free Software Foundation, Inc. 51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA

Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

[This is the first released version of the Lesser GPL. It also counts as the successor of the GNU Library Public License, version 2, hence the version number 2.1.]

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public Licenses are intended to guarantee your freedom to share and change free software--to make sure the software is free for all its users.

This license, the Lesser General Public License, applies to some specially designated software packages--typically libraries--of the Free Software Foundation and other authors who decide to use it. You can use it too, but we suggest you first think carefully about whether this license or the ordinary General Public License is the better strategy to use in any particular case, based on the explanations below.

When we speak of free software, we are referring to freedom of use, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish): that you receive source code or can get it if you want it; that you can change the software and use pieces of it in new free programs; and that you are informed that you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid distributors to deny you these rights or to ask you to surrender these rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the library or if you modify it.

For example, if you distribute copies of the library, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that we gave you. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. If you link other code with the library, you must provide complete object files to the recipients, so that they can relink them with the library after making changes to the library and recompiling it. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with a two-step method: (1) we copyright the library, and (2) we offer you this license, which gives you legal permission to copy, distribute and/or

modify the library.

To protect each distributor, we want to make it very clear that there is no warranty for the free library. Also, if the library is modified by someone else and passed on, the recipients should know that what they have is not the original version, so that the original author's reputation will not be affected by problems that might be introduced by others.

Finally, software patents pose a constant threat to the existence of any free program. We wish to make sure that a company cannot effectively restrict the users of a free program by obtaining a restrictive license from a patent holder. Therefore, we insist that any patent license obtained for a version of the library must be consistent with the full freedom of use specified in this license.

Most GNU software, including some libraries, is covered by the ordinary GNU General Public License. This license, the GNU Lesser General Public License, applies to certain designated libraries, and is quite different from the ordinary General Public License. We use this license for certain libraries in order to permit linking those libraries into non-free programs.

When a program is linked with a library, whether statically or using a shared library, the combination of the two is legally speaking a combined work, a derivative of the original library. The ordinary General Public License therefore permits such linking only if the entire combination fits its criteria of freedom. The Lesser General Public License permits more lax criteria for linking other code with the library.

We call this license the "Lesser" General Public License because it does Less to protect the user's freedom than the ordinary General Public License. It also provides other free software developers Less of an advantage over competing non-free programs. These disadvantages are the reason we use the ordinary General Public License for many libraries. However, the Lesser license provides advantages in certain special circumstances.

For example, on rare occasions, there may be a special need to encourage the widest possible use of a certain library, so that it becomes a de-facto standard. To achieve this, non-free programs must be allowed to use the library. A more frequent case is that a free library does the same job as widely used non-free libraries. In this case, there is

■ フリーソフトウェアに関する重要なお知らせ (つづき)

little to gain by limiting the free library to free software only, so we use the Lesser General Public License.

In other cases, permission to use a particular library in non-free programs enables a greater number of people to use a large body of free software. For example, permission to use the GNU C Library in non-free programs enables many more people to use the whole GNU operating system, as well as its variant, the GNU/Linux operating system.

Although the Lesser General Public License is less protective of the users' freedom, it does ensure that the user of a program that is linked with the Library has the freedom and the wherewithal to run that program using a modified version of the Library.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow. Pay close attention to the difference between a "work based on the library" and a "work that uses the library". The former contains code derived from the library, whereas the latter must be combined with the library in order to run.

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License Agreement applies to any software library or other program which contains a notice placed by the copyright holder or other authorized party saying it may be distributed under the terms of this Lesser General Public License (also called "this License"). Each licensee is addressed as "you".

A "library" means a collection of software functions and/or data prepared so as to be conveniently linked with application programs (which use some of those functions and data) to form executables.

The "Library", below, refers to any such software library or work which has been distributed under these terms. A "work based on the Library" means either the Library or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Library or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated straightforwardly into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".)

"Source code" for a work means the preferred form of the work for making

modifications to it. For a library, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the library.

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running a program using the Library is not restricted, and output from such a program is covered only if its contents constitute a work based on the Library (independent of the use of the Library in a tool for writing it). Whether that is true depends on what the Library does and what the program that uses the Library does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Library's complete source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and distribute a copy of this License along with the Library.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Library or any portion of it, thus forming a work based on the Library, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

- a) The modified work must itself be a software library.
- b) You must cause the files modified to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.
- c) You must cause the whole of the work to be licensed at no charge to all third parties under the terms of this License.
- d) If a facility in the modified Library refers to a function or a table of data to be supplied by an application program that uses the facility, other than as an argument passed when the facility is invoked, then you must make a good faith effort to ensure that, in the event an application does not supply such function or table, the facility still operates, and performs whatever part of its purpose remains meaningful.

(For example, a function in a library to compute square roots has a purpose that is entirely well-defined independent of the application. Therefore, Subsection 2d requires that any application-supplied function or table used by this function must be optional: if the application does not supply it, the square root function must still compute square roots.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Library, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Library, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Library.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Library with the Library (or with a work based on the Library) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may opt to apply the terms of the ordinary GNU General Public License instead of this License to a given copy of the Library. To do this, you must alter all the notices that refer to this License, so that they refer to the ordinary GNU General Public License, version 2, instead of to this License. (If a newer version than version 2 of the ordinary GNU General Public License has appeared, then you can specify that version instead if you wish.) Do not make any other change in these notices.

Once this change is made in a given copy, it is irreversible for that copy, so the ordinary GNU General Public License applies to all subsequent copies and derivative works made from that copy.

This option is useful when you wish to copy part of the code of the Library into a program that is not a library.

4. You may copy and distribute the

■ フリーソフトウェアに関する重要なお知らせ (つづき)

Library (or a portion or derivative of it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange.

If distribution of object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place satisfies the requirement to distribute the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

5. A program that contains no derivative of any portion of the Library, but is designed to work with the Library by being compiled or linked with it, is called a "work that uses the Library". Such a work, in isolation, is not a derivative work of the Library, and therefore falls outside the scope of this License.

However, linking a "work that uses the Library" with the Library creates an executable that is a derivative of the Library (because it contains portions of the Library), rather than a "work that uses the library". The executable is therefore covered by this License. Section 6 states terms for distribution of such executables.

When a "work that uses the Library" uses material from a header file that is part of the Library, the object code for the work may be a derivative work of the Library even though the source code is not. Whether this is true is especially significant if the work can be linked without the Library, or if the work is itself a library. The threshold for this to be true is not precisely defined by law.

If such an object file uses only numerical parameters, data structure layouts and accessors, and small macros and small inline functions (ten lines or less in length), then the use of the object file is unrestricted, regardless of whether it is legally a derivative work. (Executables containing this object code plus portions of the Library will still fall under Section 6.)

Otherwise, if the work is a derivative of the Library, you may distribute the object code for the work under the terms of Section 6. Any executables containing that work also fall under Section 6, whether or not they are linked directly with the Library itself.

6. As an exception to the Sections above, you may also combine or link a "work that

uses the Library" with the Library to produce a work containing portions of the Library, and distribute that work under terms of your choice, provided that the terms permit modification of the work for the customer's own use and reverse engineering for debugging such modifications.

You must give prominent notice with each copy of the work that the Library is used in it and that the Library and its use are covered by this License. You must supply a copy of this License. If the work during execution displays copyright notices, you must include the copyright notice for the Library among them, as well as a reference directing the user to the copy of this License. Also, you must do one of these things:

- a) Accompany the work with the complete corresponding machine-readable source code for the Library including whatever changes were used in the work (which must be distributed under Sections 1 and 2 above); and, if the work is an executable linked with the Library, with the complete machine-readable "work that uses the Library", as object code and/or source code, so that the user can modify the Library and then relink to produce a modified executable containing the modified Library. (It is understood that the user who changes the contents of definitions files in the Library will not necessarily be able to recompile the application to use the modified definitions.)
- b) Use a suitable shared library mechanism for linking with the Library. A suitable mechanism is one that (1) uses at run time a copy of the library already present on the user's computer system, rather than copying library functions into the executable, and (2) will operate properly with a modified version of the library, if the user installs one, as long as the modified version is interface-compatible with the version that the work was made with.
- c) Accompany the work with a written offer, valid for at least three years, to give the same user the materials specified in Subsection 6a, above, for a charge no more than the cost of performing this distribution.
- d) If distribution of the work is made by offering access to copy from a designated place, offer equivalent

access to copy the above specified materials from the same place.

- e) Verify that the user has already received a copy of these materials or that you have already sent this user a copy.

For an executable, the required form of the "work that uses the Library" must include any data and utility programs needed for reproducing the executable from it. However, as a special exception, the materials to be distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

It may happen that this requirement contradicts the license restrictions of other proprietary libraries that do not normally accompany the operating system. Such a contradiction means you cannot use both them and the Library together in an executable that you distribute.

7. You may place library facilities that are a work based on the Library side-by-side in a single library together with other library facilities not covered by this License, and distribute such a combined library, provided that the separate distribution of the work based on the Library and of the other library facilities is otherwise permitted, and provided that you do these two things:

- a) Accompany the combined library with a copy of the same work based on the Library, uncombined with any other library facilities. This must be distributed under the terms of the Sections above.
 - b) Give prominent notice with the combined library of the fact that part of it is a work based on the Library, and explaining where to find the accompanying uncombined form of the same work.
8. You may not copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.
9. You are not required to accept this

■ フリーソフトウェアに関する重要なお知らせ (つづき)

License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Library or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Library (or any work based on the Library), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Library or works based on it.

10. Each time you redistribute the Library (or any work based on the Library), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute, link with or modify the Library subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties with this License.

11. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Library at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Library by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Library.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply, and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any

other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

12. If the distribution and/or use of the Library is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Library under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

13. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the Lesser General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns. Each version is given a distinguishing version number. If the Library specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Library does not specify a license version number, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

14. If you wish to incorporate parts of the Library into other free programs whose distribution conditions are incompatible with these, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

15. BECAUSE THE LIBRARY IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE LIBRARY, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE LIBRARY "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT

LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE LIBRARY IS WITH YOU. SHOULD THE LIBRARY PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

16. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE LIBRARY AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE LIBRARY (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE LIBRARY TO OPERATE WITH ANY OTHER SOFTWARE), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Libraries

If you develop a new library, and you want it to be of the greatest possible use to the public, we recommend making it free software that everyone can redistribute and change. You can do so by permitting redistribution under these terms (or, alternatively, under the terms of the ordinary General Public License).

To apply these terms, attach the following notices to the library. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<one line to give the library's name and a brief idea of what it does.>

Copyright © <year> <name of author>

This library is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU Lesser General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2.1 of the License, or (at your option) any

■ フリーソフトウェアに関する重要なお知らせ (つづき)

later version.

This library is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU Lesser General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU Lesser General Public License along with this library; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the library, if necessary. Here is a sample; alter the names: Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the library 'Frob' (a library for tweaking knobs) written by James Random Hacker.

<signature of Ty Coon>, 1 April 1990
Ty Coon, President of Vice

That's all there is to it!

Copyright ©2000 Intel Corporation All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

Neither name of Intel Corporation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL INTEL OR CONTRIBUTORS BE

LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.



安全に関するご注意

- 配線の取り付け・取り外しは専門の技術者に依頼してください。
- 運転や乗り降りの妨げにならないように配線してください。

ご使用前には取扱説明書を良くお読みの上、正しくお使いください。

保証書に関するお願い

- 保証書は「お買い上げ日・販売店」などの記入を確かめ、大切に保管してください。
- 保証期間・保証規定については保証書の内容をよくご確認ください。(通話料がかかります)
- 補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後、最低6年間です。

Pioneer

サービス窓口のご案内

<各窓口へお問い合わせ時のご注意>

「0120」で始まる電話番号は、携帯電話・PHS・一部のIP電話などからは、ご使用になれません。

携帯電話・PHSからは、ナビダイヤル、またはIP電話をご利用ください。(通話料がかかります)

正確なご相談対応のために折り返しお電話をさせていただくことがありますので発信者番号の通知にご協力いただきますようお願いいたします。

商品についてのご相談窓口

※番号をよくお確かめの上でおかけいただけますようお願いいたします

パイオニア商品の取り付け・組み合わせなどについては、お買い求めの販売店様へお問い合わせください。

●商品のご購入や取り扱い、故障かどうかのご相談窓口およびカタログのご請求について

カスタマーサポートセンター

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00、土曜 9:30～12:00、13:00～17:00 (日曜・祝日・弊社休業日は除く)

■電話 《カーオーディオ/カーナビゲーション商品》

【固定電話から】 0120-944-111 (無料)

【携帯電話・PHSから】 0570-037-600 (ナビダイヤル・有料)

上記の電話番号がご利用いただけない場合

050-3820-7540 (IP電話・有料)

■ファックス

0570-037-602 (ナビダイヤル・有料)

■インターネットホームページ

<http://pioneer.jp/support/>

※商品について良くあるお問い合わせ・お客様登録など

修理についてのご相談窓口

※番号をよくお確かめの上でおかけいただけますようお願いいたします

修理をご依頼される場合は、取扱説明書の『故障かな?と思ったら』を一度ご覧になり、故障かどうかご確認ください。それでも正常に動作しない場合は、① 型名 ② ご購入日 ③ 故障症状を具体的に、ご連絡ください。

修理受付窓口

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00、土曜 9:30～12:00、13:00～17:00 (日曜・祝日・弊社休業日は除く)

■電話

【固定電話から】 0120-5-81028 (無料)

【携帯電話・PHSから】 0570-037-610 (ナビダイヤル・有料)

上記の電話番号がご利用いただけない場合

050-3820-7550 (IP電話・有料)

■ファックス

0120-5-81029 (無料)

■インターネットホームページ

<http://pioneer.jp/support/purpose/repair/>

※インターネットによる修理のお申し込みを受け付けております

部品のご購入についてのご相談窓口

※番号をよくお確かめの上でおかけいただけますようお願いいたします

●部品 (付属品、取扱説明書など) のご購入について

部品受注センター

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00、土曜 9:30～12:00、13:00～17:00 (日曜・祝日・弊社休業日は除く)

■電話

【固定電話から】 0120-5-81095 (無料)

【携帯電話・PHSから】 0570-057-140 (ナビダイヤル・有料)

上記の電話番号がご利用いただけない場合

050-3820-7551 (IP電話・有料)

■ファックス

0120-5-81096 (無料)

■インターネットホームページ

<http://pioneer.jp/support/purpose/parts/flow/>

※FAXでご注文の際は上記ホームページの付属品購入の流れを参照のうえ、付属品注文票をダウンロードしてご利用ください

記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますので予めご了承ください。

VOL.05

パイオニア株式会社

〒113-0021

東京都文京区本駒込 2-28-8 文京グリーンコート

©パイオニア株式会社 2018

HU01UG590RZZH

U01UG590RZZ(O)